※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

⑵　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

⑶　主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができている。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、感性と美意識を高め、美術文化に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アレンジ模写	教科書を基本に美術史を学び、あらゆる絵画の表現を鑑賞し、それらに習って模写することによって、作家への愛着と表現を学ぶ。	a: 表現したいことを伝える ための模写の技能を身に付けている。 b:名画の構図や制作方法を研究し、形体や構成などを工夫して表現の構想を練っている。 c: 名画に対して素直に接し、表現の工夫をしようとする意欲がある。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
2学期	ピタゴラスイッチ	立体表現や、動きを取り入れて、試行錯誤を繰り返しながら、工夫をこらした作品作りを目指す。	a: 的確な刃物の扱いをはじめ、丁寧は立体作品制作の工程をこなせている。 b:ビー玉の動きや動線を考えながら構図や材料を判断し、表現することができている。 c:作品に取り組むことに興味関心を持ち、意欲的に制作できている。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
	篆刻	印鑑の文字デザインと、持ち手の立体デザインに取り組み、石の質感を捉えて掘り磨く工芸作品を作り上げることを目標とする。	a: 彫刻刀を正しく用い、石彫の技術を駆使した丁寧な仕上げができている。 b: 印鑑の機能を考え個性的なデザイン・造形の表現ができている。 c: 石彫の表現を理解して作業工程に取り組み、意欲的に制作を行う。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
3学期	プッシュステンド	ステンドグラス風の表現を、細かな切り絵作業で表現する。	a: 個性的なデザイン、色彩構成、繊細なカッターワークができている。 b: 立体化した場合の６面を生かした構成で、工夫のあるデザインワークができている。 c: 透過を意識した立体デザインの創作にあたり意欲的に取り組もうとしている。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用